

# Food Safety Culture

## 食品安全文化

2025年2月3日  
日本マクドナルド株式会社  
食品安全品質システム部  
吉澤 恒治



# 本日の議題

1. なぜ食品安全文化が必要なのか？
2. 食品安全文化測定ツール
3. FCPでの活動概要（2024年度）
4. 今後のFCPでの展開について

# **FOOD SAFETY CULTURE (食品安全文化)**

**がなぜ、いま必要なのか？**

管理者

システム

国籍

分断／多様化が課題

作業者

慣行

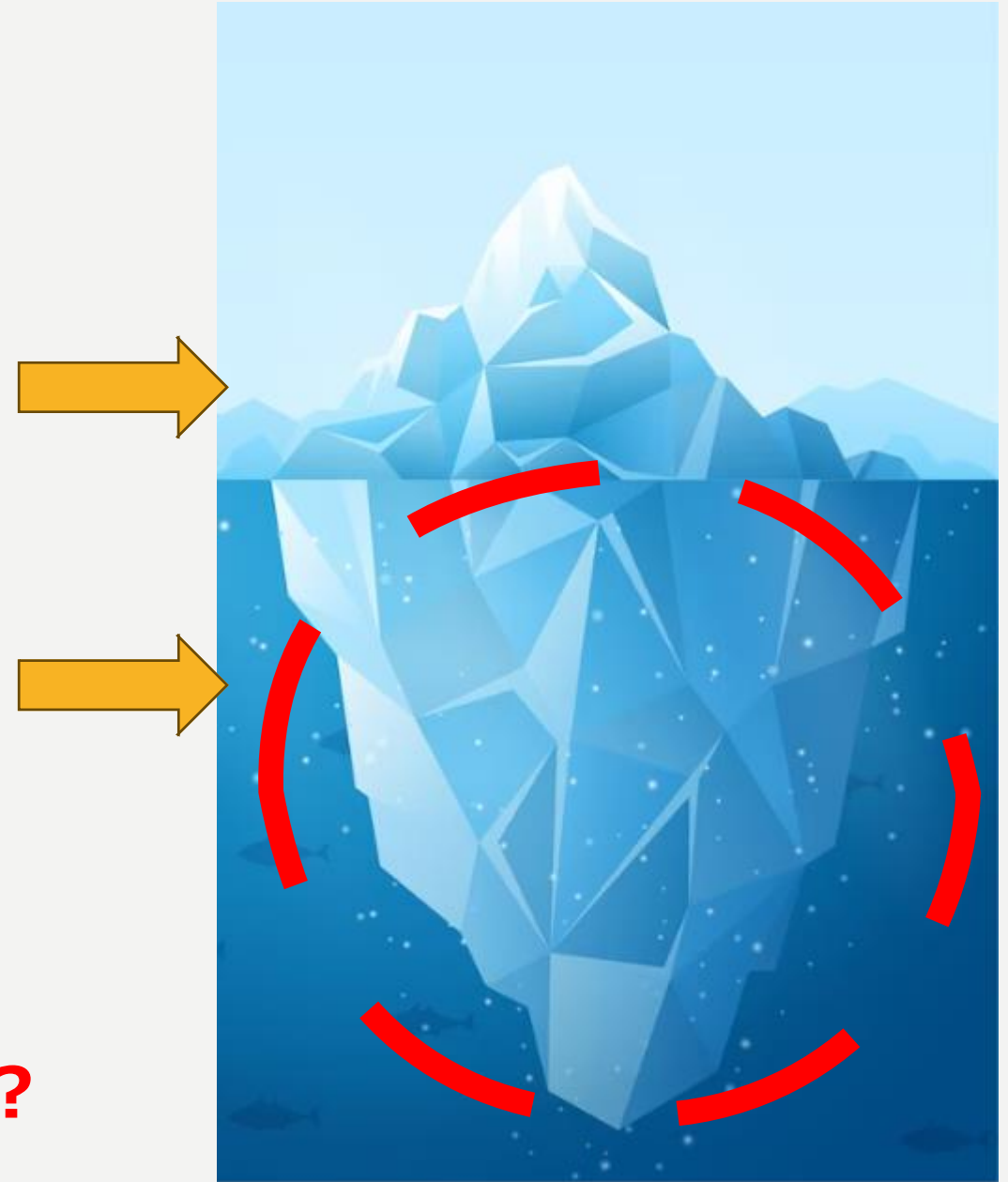
価値観

# 食品安全文化の醸成

目に見える行動

目に見えない・話されない・聞こえない  
水面下で大きく影響している職場文化

「職場文化」の醸成はできていますか？

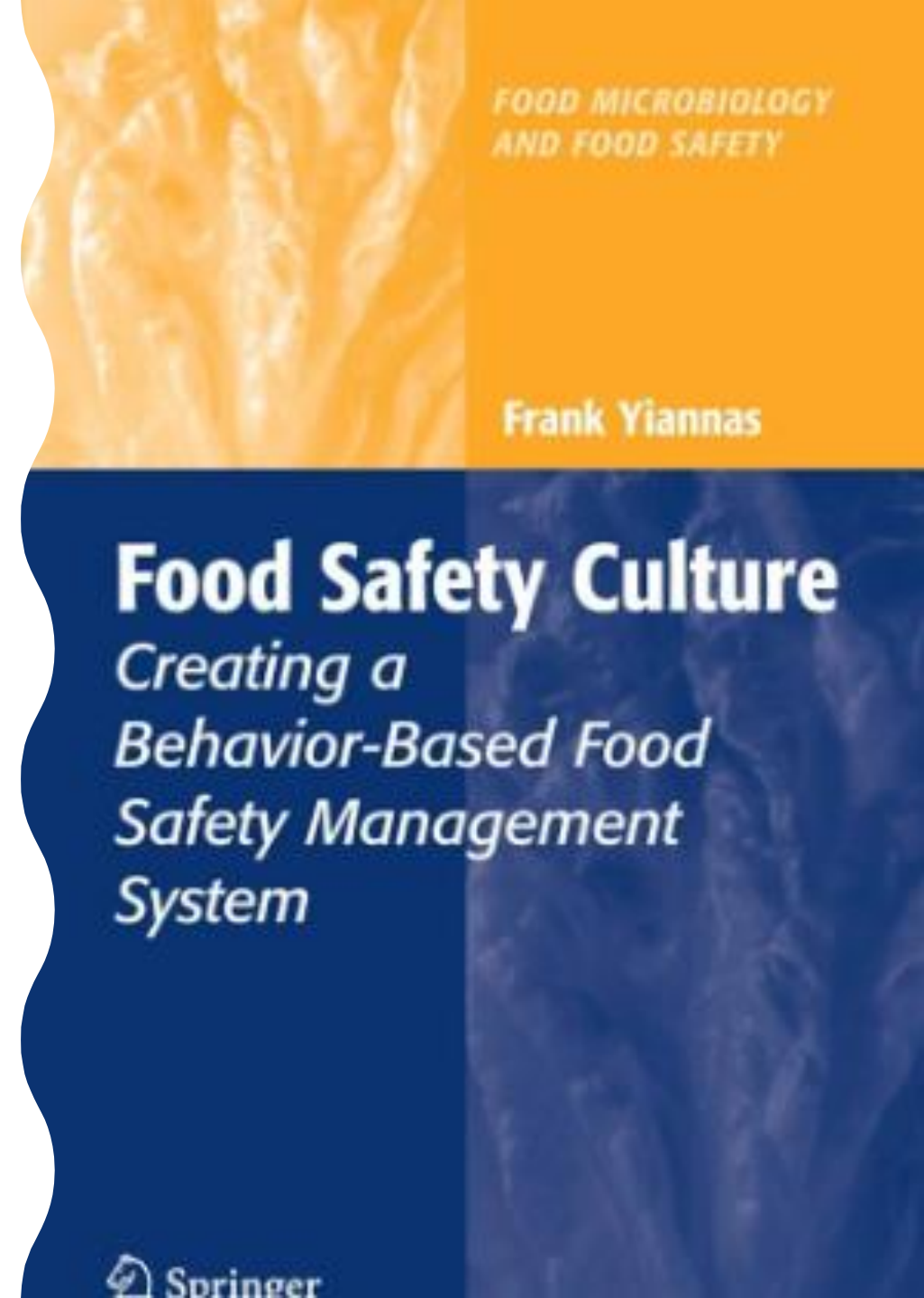


Culture is the way  
we do things around here

文化とは、組織がいつも  
「あたりまえ」にやっていること  
を指す

でも、「文化」（大切なこと）  
は目にみえない…

Food Safety Culture Creating a Behavior-Based Food Safety  
Management System : Frank Yiannas 著



# 本日の議題

1. なぜ食品安全文化が必要なのか？
2. 食品安全文化測定ツール
3. FCPでの活動概要（2024年度）
4. 今後のFCPでの展開について

F C P でやりたいこと

職場の食品安全文化を  
可視化するツールの開発

# 食品安全文化可視化ツールとは

## チェックリスト

- 誰か、または組織が
- 対象を
- 項目に基づいて
- 評価するもの

## アンケート

- その職場に従事する全ての方が
- 職場の食品安全活動に対して
- 項目に基づいて
- 評価するもの

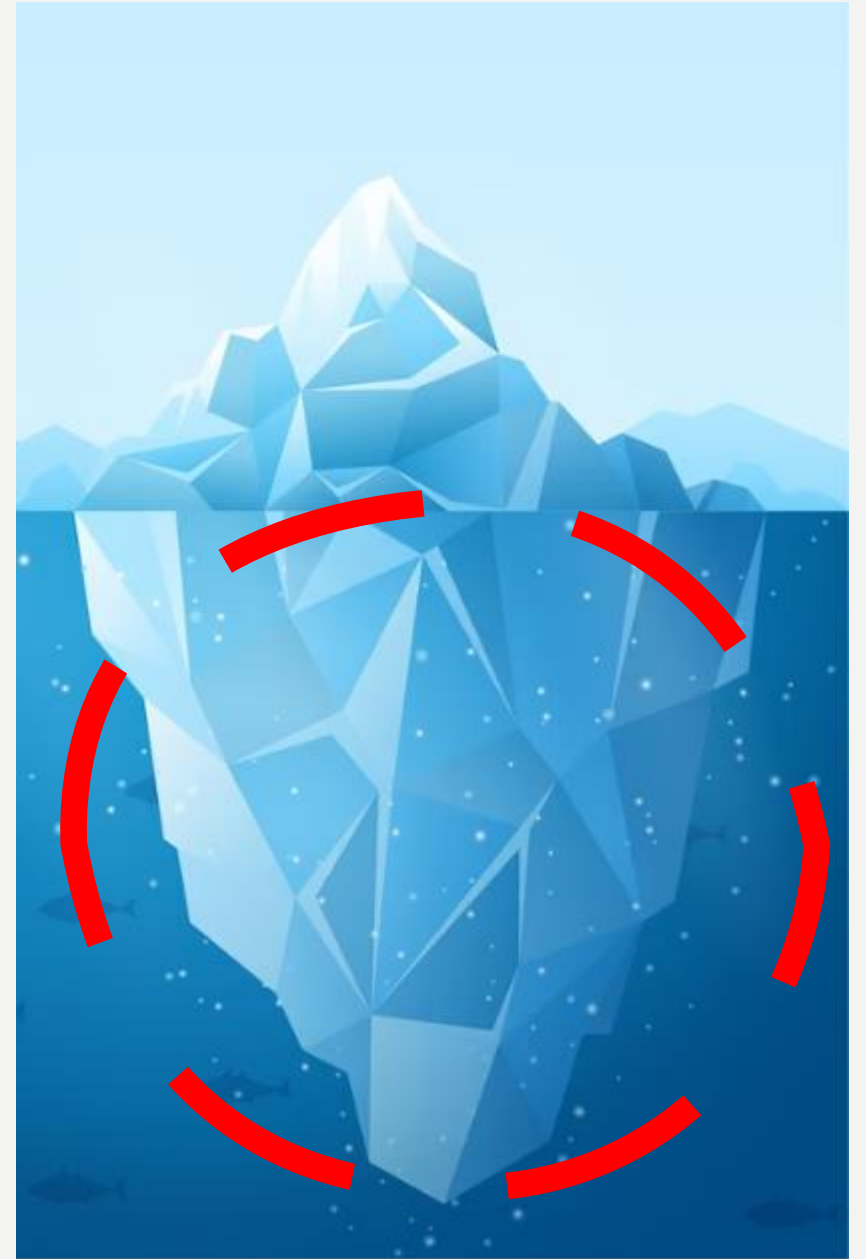
職場文化の脆弱性を  
ツールで可視化



脆弱性の是正によって、  
より強固な職場文化を醸成



「あたりまえ」の意識  
を高めていく**職場文化**に



# なぜ可視化ツールを作るのか？

- 現在、海外のサービスしか利用できず、高価格
- 海外サービスの場合、日本語対応に懸念がある
- 中小企業へサポートが必要（日本の食品製造業は90%以上が中小企業あり、気軽に使えるものがない）
- 食品安全認証の要求事項に「文化」の項目が入る（GFSIベンチマーク規格）
- 文化測定結果は経営面でも有用（例：離職者の抑止等）
- 文化測定は多分野への発展性が高く、すそ野が広い

**日本版の立ち上げが急務！！**



# 本日の議題

1. なぜ食品安全文化が必要なのか？
2. 食品安全文化測定ツール
3. FCPでの活動概要（2024年度）
4. 今後のFCPでの展開について

**目標①：2025年3月までにアンケートを完成**

**目標②：2025年4月以降に広報活動を開始**

| 事務局  | 農林水産省 食品製造課 原材料調達・品質管理改善室に担っていただく予定   |
|------|---------------------------------------|
| 開催期間 | 2024年7～2025年3月（無料アンケートツールの作成）         |
| 開催頻度 | 1回（3時間）／月                             |
| 開催場所 | 参加企業による持ち回り制とする                       |
| 作成方法 | 参加企業が運用しているアンケートツールをベースに、海外事例を参考に作成する |
| 公開方法 | 完成したアンケートツールは農林水産省FCPのHPに掲出する         |
| 参加企業 | 食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業、大学（合計23名）       |
| 広報活動 | 公募を実施し、趣旨に賛同してくださる企業をとともに活動を予定        |

# FCPでの検討内容（2024年7月～2025年1月）

1. アンケート内容の整理（44項目 ⇒ 37項目）
  2. 「わかりやすさ」の追求
  3. アンケートの多言語化（中国語、ベトナム語、英語、タガログ語、ネパール語、ミャンマー語）
  4. アンケートプラットフォームの検討
  5. 教示文／ガイダンス文書の作成
- 

# 今後のFCPでの展開に関して

## 【～2025年3月】

- ✓ 複数の製造業者で運用テストを実施する
- ✓ テスト結果を基に、アンケート内容の見直し
- ✓ FCPの成果物として農林水産省から発表

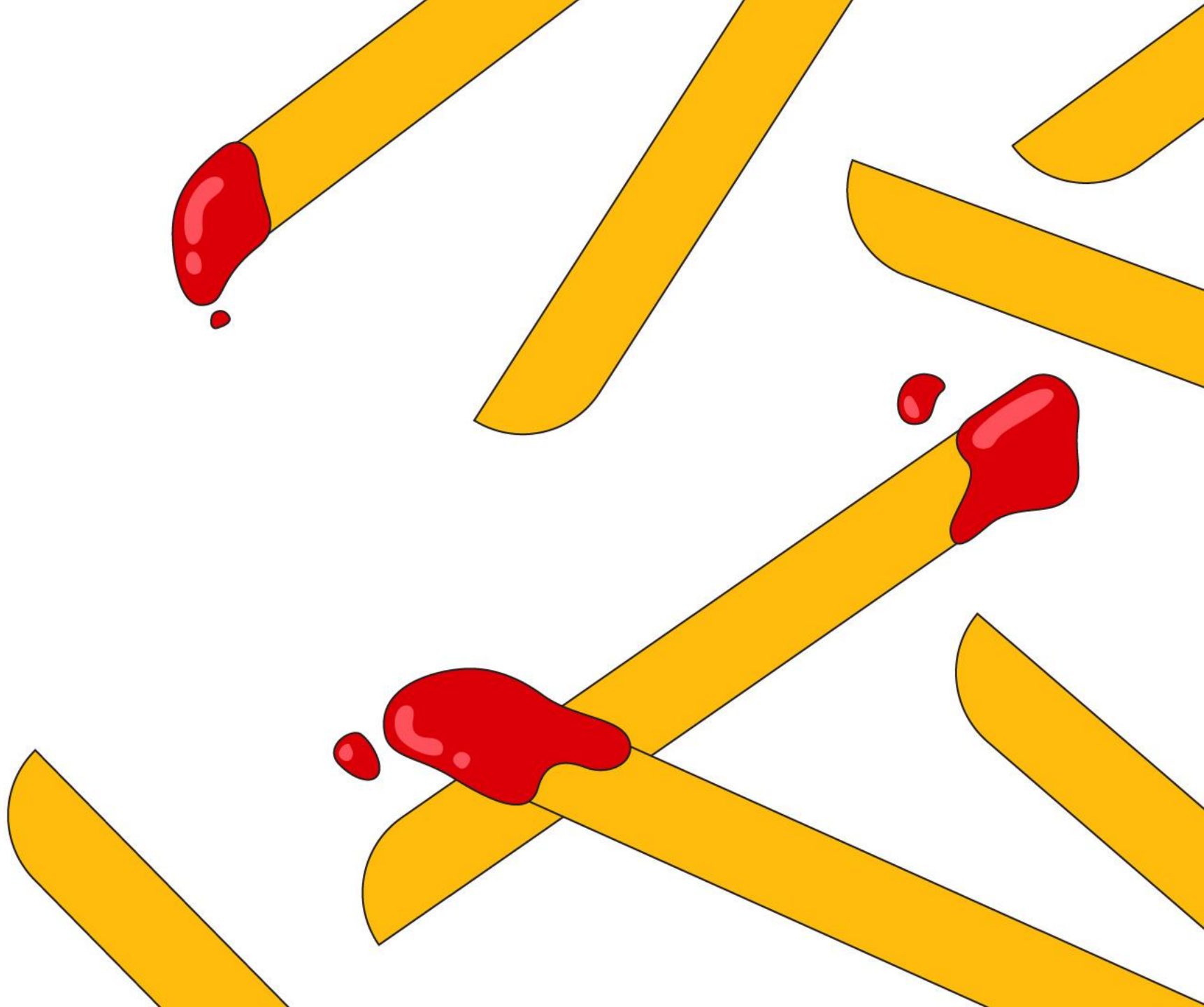
## 【2025年4月以降の活動案】

- ✓ アンケートツールの認知拡大活動
- ✓ アンケートツールにWell-Being状態の調査機能を追加し、更新する

Thank you!



# Appendix



# 1. アンケート内容の整理

- ✓ GFSIの食品安全文化に関する見解書
- ✓ 海外の評価ツール
- ✓ 大学での研究事例
- ✓ A社の独自ツール
- 上記の資料を活用し、質問事項を37項目にしぼることが出来た

# 2. わかりやすさの追求

- ✓ 難解な単語を避け、理解しやすい言葉で表現
  - ✓ 製造現場への親和性が高い単語を選択
  - ご回答いただく方がスツキリと理解できる質問表現に変換した
- 

### 3. アンケートの多言語化

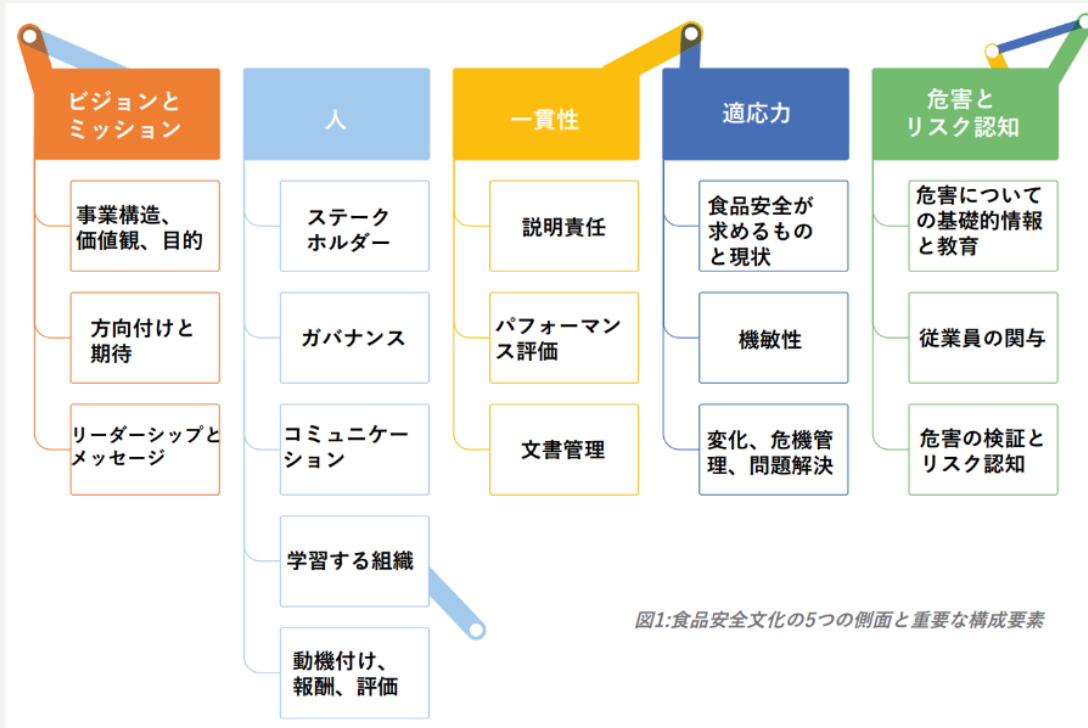
- ✓ 外国人労働者の増加を見越し、多言語化を検討
- ✓ メンバー企業にて、特に多く利用されている言語を選択
- AIによる翻訳と、実際に働いている方々による確認によって、6カ国対応を実施した

### 4. アンケートプラットフォームの検討

- ✓ 中小企業によって使いやすい利用形式の検討
  - ✓ 高い効果を得るためのアンケート階層構成を検討
  - 多くの中小企業に使っていただけるプラットフォーム構築を目指す
- 

# 5. 教示文／ガイダンス文書の作成

- ✓ アンケート実施のための教示文\*を作成中
- ✓ アンケート内容に関するガイダンス文書\*を作成中\*



## 【教示文】

アンケート実施者に対してその目的と、心理的なハードルを取り除くための説明を目的としたもの。

## 【ガイダンス文書】

GFSIの見解書に記載されている5つの柱が要求する事項について、各事項が求めることに対してガイダンスを設けることで、アンケート実施企業における理解を深める補助的な役割を担う。

\*図：食品安全文化GFSIの見解書より引用